

R8_0108 始業式講話

皆さん、明けましておめでとうございます。

一年の計は元旦にありと言われますが、皆さんには「これをやり遂げたい」という思いが芽生えたのでしょうか。

さて、皆さんが12月に回答した「何ができるようになったか」の振り返りアンケートの結果を見させてもらいました。

2年生は、「難しいと感じたことを諦めずに考え抜く姿勢」「授業への集中」「基礎基本の重視」「先の見通しを立てて学習する姿勢」などの向上を実感できている人が増えていました。また、家庭学習時間や理解するための自力での解決の努力をする人の数も増えていきます。

学年の始めに比べて、学習に対して真剣に向き合う姿勢が強まっていることが素晴らしいと思います

3年生も意識が向上している項目が多く見られましたが、特に進路実現に向けて、「先を見通して学習する姿勢」の評価は、大きく伸びていました。

また、「成功・失敗の体験から自分の成長を感じる」という項目で強く実感している人の割合は2年生と比べて相当大きかったです。やはり卒業後の進路が間近に迫ってきている3年生には自覚と自信の強さが見られました。

皆さんの中にはこのような力をつけて、一体何になるのかという人がいるかもしれません。テストで良い結果を出したり、部活の試合で相手に勝ったりするためにはその教科の力や、競技の技を磨けば結果につながるように思いがちです。

実際のところ、社会では、勝ち負け・得点などの目に見える結果を試される機会がたくさんあります。皆さんも、コツコツ取り組んだり、しっかり計画を立てて準備したのに結果につながらなかったという経験をした人もいるでしょう。

しかし、今年2回行ったこのアンケートで求める力は、成長の度合いが目に見えるにくく、数値や目に見える結果で表しにくいものですが、社会で求められる色々な結果を出すための前提となる非認知能力と言われる力です。

皆さんには、三木北高校の学校生活で、これらの数値や結果として表れにくい力を大切にして、今後、あらゆることにチャレンジして経験を積み、成功から自信を深め、失敗からは立ち直る力を養って欲しいと願っています。

三木北高校で伸ばした力がベースにあれば、皆さんにとって、学校での学業はもちろんのこと、社会の様々な場面で活躍することができると信じています。

今年も体に気をつけて、学校生活を大切にしてがんばりましょう。